

4. 新聞等に掲載された活動

○解剖学第一

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
森 望・教授	聞く効く先端医療2寿命遺伝子から探る	長崎新聞	2007年 5月8日	神経特異的な遺伝子の研究を通して、脳の老化を防ぐ試みを紹介した。

○解剖学第二

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
分部哲秋・講師	石棺の人骨は熟年女性	中国新聞	2007年 3月30日	広島県三次市の大樽池第5号古墳出土人骨について、形質人類学的な調査を行った結果、熟年女性と推定。本地域で顔面部の残存状況の良い古墳時代女性人骨の出土例は珍しく、広島県北地域での人骨形質の時代変化および地域性の解明の一助となるものである。

○生理学第二

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
篠原一之・教授	「赤ちゃんABC」泣く①	読売新聞	2007年 2月6日	赤ちゃんは何故泣くのだろうか？「要求のサインを見逃さないで」をテーマに解説した記事
篠原一之・教授	「赤ちゃんABC」泣く②	読売新聞	2007年 2月20日	赤ちゃんは何故泣くのだろうか？「止まらない時には気長に」をテーマに解説した記事
篠原一之・教授	「フェミラックス」	長崎新聞	2007年 7月4日	女性のためのアロマ「フェミラックス」生理前のイライラやマタニティーブルーなどに効果のある香り～癒し・活気・眠気解消～などの効用についての記事
篠原一之・教授	「ながさき子育て広場」ウェブ講座①	安心子育てホッと情報委員会	2007年 10月15日	長崎県が立ち上げたWeb講座第1回 お腹の中でおぼえるお袋の味、おっぱいでおぼえるお袋の味
篠原一之・教授 西谷正太・助教	「においがつなぐ親子・男女」	日本経済新聞	2007年 11月4日	コミュニケーションに役立つ～母乳は赤ちゃんのストレスを和らげる～
篠原一之・教授	「ながさき子育て広場」ウェブ講座②	安心子育てホッと情報委員会	2007年 11月30日	長崎県が立ち上げたWeb講座第2回 おっぱい、偉大なる母親

○薬理学第一

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
丹羽正美・教授 中川慎介・助教	薬物の脳への作用判定	長崎新聞	2007年 1月11日	長崎大発のベンチャー開発 知的財産の社会への還元
丹羽正美・教授 中川慎介・助教	長崎大発のベンチャー	長崎新聞	2007年 3月3日	長崎大発ベンチャー育成
丹羽正美・教授 中川慎介・助教	長崎大発ベンチャーが BBBキットで本格稼働	Biotechnology Japan	2007年 3月19日	長崎大発ベンチャーの活動
丹羽正美・教授 中川慎介・助教	創業 大学からの起業 続々	西日本新聞	2007年 7月1日	長崎大発ベンチャーの活動
丹羽正美・教授 中川慎介・助教	長崎大発ベンチャー	KTN 月刊 県政 マガジン	2007年 8月18日	長崎大発ベンチャーの活動
丹羽正美・教授 中川慎介・助教	新薬開発期待の新装置	NBC 報道セン ター	2007年 9月21日	長崎大発ベンチャーの活動

○感染分子解析学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
片峰 茂・教授	感染症の診断技術	日経産業新聞	2007年 1月16日	地球規模の予防推進である、21世 紀COE「熱帯病・新興感染症の地球 規模制御戦略拠点」について
片峰 茂・教授 西田教行・准教授	異常プリオン抑制物質を 発見(岐阜大・桑田教授 との共同研究)	中日新聞	2007年 7月4日	プリオン病の原因となる異常なプリ オン生成を抑える物質を世界で初め て発見
片峰 茂・教授	ATL 制圧に向けて	長崎新聞	2007年 8月22日	ATL ウイルス感染経路の解明

○内科学第一

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
江口勝美・教授	教えてドクター	ザ・長崎	2007年 6月29日	現在、リウマチ患者の30%は20～ 30代。症状が進んでしまうと全身 状態が悪くなり、副作用の心配から 薬も制限されるが、早期発見早期治 療を行えば普通の生活を送ることが できる。
江口勝美・教授	リウマチでお困りの方へ 十箇条のメッセージ	長崎プレス	2007年 7月1日	市民公開講座「関節リウマチ治療最 前線～よくわかる関節リウマチのお 話～」が平成19年7月7日、長崎ブ リックホールで開催された。公開講 座の出席案内を掲載した。
中尾一彦・准教授	集団指導医療相談会 「原発性胆汁性肝硬変」	広報「ながさき」	2007年 10月	交流会

○内科学第二

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
河野 茂・教授	死者十万 肺炎の真実	NHK	2007年 2月21日	本邦の死因の第4位にある肺炎の重要性を概説した。
河野 茂・教授	腸管出血性大腸菌	テレビ長崎	2007年 8月28日	腸管出血性大腸菌感染症の概要と予防法について説明した。
河野 茂・教授	カザフスタン報告原爆実験場	テレビ長崎	2007年 10月30日	カザフスタンにおける原爆実験場の現状と問題点を概説した。
河野 茂・教授	学生が見た医学部150年	テレビ長崎	2007年 11月15日	医学部創立150周年に関し、医学部長として概説した。
河野 茂・教授	医療ルネッサンス あなどれない肺炎「風邪だろう」が命取り	読賣新聞	2007年 11月26日	本邦の死因の第4位にある肺炎の重要性を概説した。
中村洋一・助教	できたてGoPan 健康相談室：がん予防	KTN	2007年 4月10日	がん予防について概説した。
中村洋一・助教	できたてGoPan 健康相談室：がん検診	KTN	2007年 5月22日	がん検診について概説した。
中村洋一・助教	できたてGoPan 健康相談室：がん告知	KTN	2007年 7月10日	がん告知について概説した。
中村洋一・助教	できたてGoPan 健康相談室：がん告知	KTN	2007年 7月17日	がん告知について概説した。
中村洋一・助教	できたてGoPan 健康相談室：外科手術	KTN	2007年 8月14日	がんの外科手術について概説した。
中村洋一・助教	できたてGoPan 健康相談室：内視鏡治療	KTN	2007年 9月10日	がんの内視鏡治療について概説した。
中村洋一・助教	できたてGoPan 健康相談室：放射線治療	KTN	2007年 10月16日	放射線治療について概説した。
中村洋一・助教	できたてGoPan 健康相談室：乳がん	KTN	2007年 11月27日	乳がんについて概説した。

○内科学第三

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
矢野捷介・教授	心原性脳梗塞の病態と予防、とくに心房細動に合併する脳梗塞について	西日本新聞	2007年 1月1日	心原性脳梗塞の原因・機序病態の特徴治療と予防についての内容である。
中尾功二郎・助教	心房細動に対するさまざまな治療方法	西日本新聞	2007年 11月24日	心房細胞の薬物療法・非薬物療法についての内容である。

○小児科学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
森内浩幸・教授 江頭昌典・講師	嘔吐下痢症抑制研究調査協力	長崎新聞	2007年 10月8日	ラクトフェリンのロタウイルス嘔吐下痢症への軽減効果調査への協力呼掛け

○外科学第二

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
兼松隆之・教授	ドイツ医学模範に選ぶ～近代医学の夜明けと相良知安	長崎新聞	2007年 2月14日	本邦の医学創世記における諸外国とのかかわりにおいて活躍された相良知安先生について概説した。
兼松隆之・教授	医療体制確し医風一新～衛生事業の創立者長与専斎	長崎新聞	2007年 2月28日	長崎大学の発展に寄与された長与専斎先生の活動内容を概説した。
兼松隆之・教授	復興へ体を顧みず折衝～古屋野学長らの熱い思い	長崎新聞	2007年 6月27日	原爆被爆後も長崎大学、長崎の再興、発展のため尽力された古屋野元学長について概説した。
兼松隆之・教授	肝細胞移植(臓器の再生へ新技術)	長崎新聞	2007年 8月6日	現代医学の発展、未来への展望を細胞移植という新しい観点より概説した。
兼松隆之・教授	ナゼダス調査隊～外科医不足	テレビ朝日	2007年 8月23日	昨今の外科医志望者の不足をデータをもとに世に知らせた。
兼松隆之・教授	歯・薬学部と大学院総括～大変革の波	長崎新聞	2007年 9月12日	長崎大学大学院の今後の有るべき姿を元医学部長の視点より概説した。
江口 晋・助教	肝移植	KTN 健康マガジン	2007年 9月28日	脳死、生体肝移植につき基礎知識から一般市民に向けて概説した。
兼松隆之・教授	激務とリスクに合わぬ低賃金日本から外科医がいなくなる	週刊東洋経済	2007年 11月3日	昨今の外科医志望者の不足をデータをもとに世に知らせ、その対策までも論じたものである。

○整形外科

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
馬場秀夫・助教	腰部脊柱管狭窄症について	KTN	2007年 10月26日	腰部脊柱管狭窄症の症状についてわかりやすく解説した。

○皮膚科学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
佐藤伸一・教授	佐藤先生の爪の水虫講座	長崎新聞	2007年 4月7日	水虫について易しく解説
佐藤伸一・教授	知って役立つ皮膚病の話	長崎新聞	2007年 8月20日	今年の「ひふの日」のテーマについて解説
佐藤伸一・教授 小川文秀・講師	皮膚がんの早期発見について	NBC 報道センター	2007年 9月13日	皮膚がんの早期発見についてデルモスコピーを使った診断法など皮膚科での取り組みについて取材を受けた
佐藤伸一・教授	知って役立つ皮膚病の話	第19回ひふの日講演会&相談会	2007年 10月6日	第19回ひふの日講演会&相談会で、一般市民を対象に講演

○泌尿器科学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
井川 掌・助教 金武 洋・教授	前立腺がんに対する小線源治療(ブラキセラピー)について	朝日新聞	2007年 1月1日	
井川 掌・助教	ひろがる小線源治療	長崎新聞	2007年 4月2日	
酒井英樹・准教授	前立腺がん	毎日新聞	2007年 11月27日	高齢化や食生活の欧米化で患者数、死亡者数とも急増。治療法はどう選べばいい？

○眼科学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
隈上武志・講師	命のリレー第4回 角膜移植について	KTN 週間ドクターズマガジン	2007年 10月5日	角膜移植について

○耳鼻咽喉科学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
高崎賢治・講師	花粉症	KTN スーパーニュース	2007年 2月5日	花粉症について
高崎賢治・講師	花粉症	報道センターNBC	2007年 2月23日	花粉症について
高橋晴雄・教授	小児急性中耳炎診療ガイドライン	日経ラジオ感染症アワー	2007年 12月21日 放送	小児滲出性中耳炎の病因，疫学，治療などを解説し，一般市民への啓蒙を行った。

○放射線医学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
伊東昌子・准教授	「骨の質」を考える骨粗鬆症小事典24	日本骨粗鬆症学会パンフレット	2007年 2月20日	骨粗鬆症に関する社会的啓蒙
伊東昌子・准教授	骨質から見た骨粗鬆症治療薬の効果について	Medical Tribune	2007年 3月1日	骨粗鬆症に関する社会的啓蒙
伊東昌子・准教授	第27回日本骨形態計測学会	Medical Tribune	2007年 8月16日	骨粗鬆症に関する社会的啓蒙
伊東昌子・准教授	最新画像診断法により骨梁構造や骨質の評価がナノレベルで可能に	Medical Tribune	2007年 9月27日	骨粗鬆症に関する社会的啓蒙
伊東昌子・准教授	時代は骨質の評価へ	Medical Tribune	2007年 10月18日	骨粗鬆症に関する社会的啓蒙

○産科婦人科学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
増崎英明・教授	医師確保難しい産科	長崎新聞	2007年 1月30日	産科勤務医不足についての現状を報告した。
増崎英明・教授	子宮癌若年化HPV感染増加	長崎新聞	2007年 2月5日	子宮頸癌とHPV感染について概説した。
増崎英明・教授	分娩取り扱う医療機関、減少深刻、都市部に偏在	長崎新聞	2007年 3月11日	産科医不足についての現状について概説した。
増崎英明・教授	妊婦健診5回まで無料に	長崎新聞	2007年 3月20日	妊婦健診公費負担変更について概説した。
増崎英明・教授	自分らしく生きるために -子宮がんは若い女性の病気…-	Hybrid free paper「PP..」	2007年 4月号	子宮癌についての社会的啓蒙
嶋田貴子・助教	子宮頸がんはパピローマウイルス感染でおこります-パピローマウイルスについて	テレビ長崎	2007年 4月13日	子宮頸癌についての社会的啓蒙
増崎英明・教授	「望まぬ妊娠」防げ-正しい性教育の充実を-	長崎新聞	2007年 4月25日	性教育についての社会的啓蒙
増崎英明・教授	自分らしく生きるために 子宮がんとパピローマウイルス	Hybrid free paper「PP..」	2007年 5月号	子宮頸癌についての社会的啓蒙
増崎英明・教授	自分らしく生きるために 奥様お嬢様、子宮がん検診受けてますか	Hybrid free paper「PP..」	2007年 6月号	子宮頸癌についての社会的啓蒙
増崎英明・教授	「教えて命の尊厳」長崎で県母性衛生学会総会、夜回り先生講演も	長崎新聞	2007年 6月25日	長崎県母性衛生学会の内容について概説した。
増崎英明・教授	自分らしく生きるために 子宮体がんについて	Hybrid free paper「PP..」	2007年 7月号	子宮体癌についての社会的啓蒙
増崎英明・教授	自分らしく生きるために 若い女性の子宮がんの増加の要因について	Hybrid free paper「PP..」	2007年 9月号	子宮癌についての社会的啓蒙
増崎英明・教授	ペン・万年筆	Hybrid free paper「PP..」	2007年 12月号	筆記具について

○麻酔学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
北條美能留・助教	緩和ケアチームの活動	NHK クローズアップ現代	2007年 12月6日	地域在宅医と緩和ケアチームの連携について放送

○脳神経外科学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
北川直毅・講師	日本脳卒中協会県支部	長崎新聞	2007年 5月25日	長崎脳卒中市民公開講座

○心臓血管外科学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
山近史郎・講師	POSA アイキャンプでの心エコー検査報告	POSA 事業報告 No.11	2007年 11月	POSA (Project Operation Sight for All) 2006年12月23日～29日バングラディッシュにおけるPOSA アイキャンプに参加し、心エコー検査を行ったので報告した

○臨床検査医学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
長谷川寛雄・助教	TRAIL レセプターを介した新しい治療薬の開発について	長崎新聞	2007年 11月14日	長崎大学医学部150周年記念取材の一環 若年研究者の紹介記事

○分子疫学 (旧衛生学)

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
中込 治・教授	問題発見・解決能力を持った探究型熱帯医学専門医の養成	週間医学界新聞 第2731号	2007年 5月14日	医歯薬総合研究科・熱帯医学専攻長としてわが国で初めての試みである熱帯医学修士課程について1期生を送り出した時点での概要を公表した。

○公衆衛生学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
高村 昇・准教授	チェルノブイリから20年 被ばく医学生の長崎訪問	通信興業新聞	2007年 4月2日	ゴメリ医科大学生との交流会
高村 昇・准教授	爆心地 今も高い放射能	信濃毎日新聞	2007年 9月19日	カザフスタン最古の爆心地で放射線量測定
高村 昇・准教授	消えない核汚染	信濃毎日新聞	2007年 10月8日	旧ソ連核実験場へ
高村 昇・准教授	消えない核汚染	信濃毎日新聞	2007年 10月9日	健康被害解明へ高い壁

○腫瘍・診断病理学研究分野（原研病理）

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
関根一郎・教授	被爆治療 世界で貢献 「がんとの関連追求」	読賣新聞	2007年 3月16日	長崎市被爆者約12万人のデータベースを活用し、被爆者が複数のがんを発症しやすいことを突き止めた。
関根一郎・教授	ボンベから150年 歴史刻む長崎大医学部 18	長崎新聞	2007年 7月11日	調 来助 教授 原爆被災の実相を記録に
関根一郎・教授	ボンベから150年 歴史刻む長崎大医学部 19	長崎新聞	2007年 7月25日	朝長正允教授と西森一正教授 被爆者研究の礎築く
関根一郎・教授	被爆医療 戦後の使命	朝日新聞	2007年 11月13日	約40年間にわたり、原爆の後遺障害の研究を続けており、最近では爆心地から1.5キロ以内で被爆した若年被爆者に重複がんが多いという研究成果を発表した。

○放射線疫学研究分野（原研疫学）

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
高村 昇・教授	チェルノブイリから20年 被ばく医学生長の長崎訪問	通信興業新聞	2007年 4月2日	ゴメリ医科大学学生との交流会
高村 昇・教授	爆心地 今も高い放射能	信濃毎日新聞	2007年 9月19日	カザフスタン最古の爆心地で放射線量測定
高村 昇・教授	消えない核汚染	信濃毎日新聞	2007年 10月8日	旧ソ連核実験場へ
高村 昇・教授	消えない核汚染	信濃毎日新聞	2007年 10月9日	健康被害解明へ高い壁

○人類遺伝学研究分野（原研遺伝）

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
吉浦孝一郎・准教授	読者からの質問への 回答	オレンジページ・からだの本	2007年 4月22日	耳垢型に関する読者からの質問に、ABCC11 遺伝子の機能、耳あか型のなりたち、今後の研究などを分かりやすく掲載。
新川詔夫・教授 吉浦孝一郎・准教授	スパークサイエンス・ハイ スクール教育への貢献	読売新聞 毎日新聞 朝日新聞 日経新聞	2007年 9月14日～ 9月16日	JSTのスパークサイエンス・ハイスクール事業へ貢献し、高校生達の日本人類遺伝学会での研究発表を支援した。
新川詔夫・教授	「解体新ショー」出演	NHK「解体新ショー」	2007年 11月3日	耳垢型の遺伝と決定遺伝子、さらに日本人の移動・定住などを解説した。
新川詔夫・教授	もっとサイエンス(Do 科学)	朝日新聞	2007年 9月30日 (日曜版)	耳垢型の遺伝と決定遺伝子について読者からの質問に答えた。

○分子診断学研究分野（原研細胞）

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
山下俊一・教授	WHO放射線科学官務めた長崎大教授	朝日新聞	2007年 1月16日	国際放射線保健
	被ばく患者の対応法学ぶ長崎大で医療講座	長崎新聞	2007年 2月4日	ヒバクシャ医療
	放射線事故に備え研修会長崎大附属病院	毎日新聞	2007年 3月16日	ヒバクシャ医療
	キーワードで探る 時流/源流「長崎大医学部」	読売新聞	2007年 3月16日	国際ヒバクシャ医療
	長崎大学医学部・歯学部病院『緊急被ばく医療講座』を開催	文教速報	2007年 3月16日	ヒバクシャ医療
	長崎大学医学部・歯学部病院『緊急被ばく医療講座』を開催	文教ニュース	2007年 3月19日	ヒバクシャ医療
山下俊一・教授	息づく感謝の心 永井博士生誕100年を記念	長崎新聞	2007年 4月8日	永井博士の生誕百年記念事業の一環として実行委主催で、永井隆博士を知る人らによる講演会が行われた。
山下俊一・教授	被爆の医師・永井博士「語る会」思い出続々	毎日新聞	2007年 4月12日	「永井隆を語る会」の第一回講演が長崎市民会館であった。
難波裕幸・准教授	長崎大がネットで遠隔講義	長崎新聞	2007年 4月27日	国際ヒバクシャ医療：「甲状腺がんの診断」のテーマで、遺伝子診断など最新医療技術について講義した。
山下俊一・教授	平和宣言文の起草 新委員に元WHO科学官の山下氏	長崎新聞	2007年 5月22日	平和活動
山下俊一・教授	「ポンペから150年」歴史刻む長崎大医学部	長崎新聞	2007年 6月13日	長崎大学医学部創立150周年
	長大の放射線研究を選定 文科省拠点づくり事業	長崎新聞	2007年 6月16日	長崎大学グローバルCOEプログラム「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」
	長崎大「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」事業「文科省COE」に採択	西日本新聞	2007年 6月19日	長崎大学グローバルCOEプログラム「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」
	「被ばく医療学」確立	長崎新聞	2007年 6月19日	長崎大学グローバルCOEプログラム「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」
	放射線治療など学ぶ NASHIMの医療研修医師団長崎市長を訪問	長崎新聞	2007年 7月31日	国際ヒバクシャ医療
	原爆忌に詩集発行 駐日臨時代理大使 長崎市長に贈呈	読売新聞	2007年 8月11日	平和活動
	NASHIM研修生が学長を表敬訪問	文教ニュース	2007年 8月20日・27日	国際ヒバクシャ医療

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
	永井隆平和記念・長崎賞 アナトリー・ツイーブ 氏に	長崎新聞	2007年 8月30日	国際ヒバクシャ医療
	永井隆平和記念・長崎 賞、露のアナトリー氏受 賞	読売新聞	2007年 8月30日	国際ヒバクシャ医療
	永井隆平和記念・長崎賞 医学放射線研究 ツイー ーブ氏受賞	朝日新聞	2007年 8月30日	国際ヒバクシャ医療
	ツイーブ氏に永井隆・長 崎賞	西日本新聞	2007年 8月30日	国際ヒバクシャ医療
	長崎賞にツイーブ氏	毎日新聞	2007年 8月30日	国際ヒバクシャ医療
	爆心地 今も高い放射能 カザフスタンの旧ソ連 核実験場	信濃毎日新聞	2007年 9月19日	国際ヒバクシャ医療
	核実験 負の遺産背負い	信濃毎日新聞	2007年 9月19日	国際ヒバクシャ医療
山下俊一・教授	「ポンペから150年」歴 史刻む長崎大医学部	長崎新聞	2007年 9月26日	国際ヒバクシャ医療
	消えない核汚染 旧ソ連 実験場は今(上)	信濃毎日新聞	2007年 10月8日	国際ヒバクシャ医療
	消えない核汚染 旧ソ連 実験場は今(中)	信濃毎日新聞	2007年 10月9日	国際ヒバクシャ医療
	消えない核汚染 旧ソ連 実験場は今(下)	信濃毎日新聞	2007年 10月10日	国際ヒバクシャ医
	永井隆平和記念・長崎賞 ツイーブ氏喜び語る	長崎新聞	2007年 11月1日	国際ヒバクシャ医療
	永井隆・長崎賞にロシア 人研究者	信濃毎日新聞	2007年 11月1日	国際ヒバクシャ医療
	ロシアの医療研究所と5 年間の協定更新	長崎新聞	2007年 11月2日	長崎大学グローバルCOEプログラ ム「放射線健康リスク制御国際戦略 拠点」
	医療倫理の重要性説く	長崎新聞	2007年 11月4日	長崎大学医学部創立150周年
山下俊一・教授	ポンペの精神脈々と	西日本新聞	2007年 11月10日	長崎大学医学部創立150周年
山下俊一・教授	日本医師会より最高優功 賞受賞	日医ニュース	2007年 11月20日	国際ヒバクシャ医療

○分子治療学研究分野（原研内科）

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
塚崎邦弘・准教授	第7回在韓被爆者健康相談事業	1.慶南道民日報 2.CJ-0Changwon ニュース	2007年 5月16日	被爆治療の専門的アドバイスを韓国の医師が事前に行った診断結果をもとに健康相談を行った。
朝長万左男・教授	ボンベから150年	長崎新聞	2007年 5月23日	歴史刻む長崎大医学部
朝長万左男・教授	被爆62年特集 原爆後障害 新たな研究	NHK長崎放送局	2007年 8月6日	被ばく者の幹細胞を用いてがん発生のメカニズムを探る。
朝長万左男・教授	がん発生のメカニズム	NBC長崎放送	2007年 8月7日	被爆62年特集
宮崎泰司・講師	同種造血幹細胞移植	長崎新聞	2007年 9月3日	聞く効く先端医療～長崎大医歯薬学研究科から～
宮崎泰司・講師	分子標的薬イマニチブ	長崎新聞	2007年 11月5日	聞く効く先端医療～長崎大医歯薬学研究科から～
塚崎邦弘・准教授	第8回在韓被爆者健康相談事業	1.NBC長崎放送 (12日) 2.光州テレビ (12日) 3.ピョンテク ケーブルテレビ ニュース(14日)	2007年 11月12日 2007年 11月14日	被爆治療の専門的アドバイスを韓国の医師が事前に行った診断結果をもとに健康相談を行った。
塚崎邦弘・准教授	抗体医薬	長崎新聞	2007年 12月3日	聞く効く先端医療～長崎大医歯薬学研究科から～

○分子設計学研究分野（原研分子）

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
永山雄二・教授	厚生労働省・原爆症認定在り方委員会委員	長崎新聞 朝日新聞	2007年 12月23日	厚生労働省・原爆症認定在り方委員会委員として、見直し案を被爆者に説明。

○国際放射線保健部門（原研国際）

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
	放射線治療など学ぶ NASHIMの医療研修医 師団長崎市長を訪問	長崎新聞	2007年 7月31日	国際ヒバクシャ医療
	NASHIM研修生が学長 を表敬訪問	文教ニュース	2007年 8月20日・ 27日	国際ヒバクシャ医療
	永井隆平和記念・長崎賞 アナトリー・ツイープ氏 に	長崎新聞	2007年 8月30日	国際ヒバクシャ医療
	永井隆平和記念・長崎 賞、露のアナトリー氏受 賞	読売新聞	2007年 8月30日	国際ヒバクシャ医療
	永井隆平和記念・長崎賞 医学放射線研究 ツイー プ氏受賞	朝日新聞	2007年 8月30日	国際ヒバクシャ医療
	ツイープ氏に永井隆・長 崎賞	西日本新聞	2007年 8月30日	国際ヒバクシャ医療
	長崎賞にツイープ氏	毎日新聞	2007年 8月30日	国際ヒバクシャ医療
	永井隆平和記念・長崎賞 ツイープ氏喜び語る	長崎新聞	2007年 11月1日	国際ヒバクシャ医療
	永井隆・長崎賞にロシア 人研究者	信濃毎日新聞	2007年 11月1日	国際ヒバクシャ医療
	ロシアの医療研究所と5 年間の協定更新	長崎新聞	2007年 11月2日	長崎大学グローバルCOEプログラ ム「放射線健康リスク制御国際戦略 拠点」

○資料収集保存部 資料調査室（原研情報室）

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
三根真理子・准教 授	独居被爆者の心の健康度 を報告	長崎新聞	2007年 6月4日	独居被爆者について調査し、被爆体 験の記憶が強いほど、心の健康度が 低い傾向にあるとの結果が得られ た。

○生活習慣病予防診療部

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
川崎英二・准教授	危険な隠れ糖尿病	そよかぜ	2007年 6月29日	隠れ糖尿病の特徴と日常生活の注意 点について解説した。
川崎英二・准教授	オンライン症例検討	Japan Medicine	2007年 7月30日	オンライン症例検討による病診連携 の特徴や実践方法について説明し た。
川崎英二・准教授	成人1型糖尿病について	弥生	2007年 10月1日	成人1型糖尿病で3タイプに区分さ れる診断や治療について解説した。

○国際ヒバクシャ医療センター

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
大津留 晶・准教授	緊急被ばく医療	長崎新聞	2007年 2月4日	被ばく患者の対応学ぶ。
大津留 晶・准教授	緊急被ばく医療	毎日新聞	2007年 2月10日	放射線事故に備え研修会 長崎大附属病院
大津留 晶・准教授	緊急被ばく医療	文教速報	2007年 3月16日	長崎大学医学部・歯学部病院『緊急被ばく医療講座』を開催
大津留 晶・准教授	緊急被ばく医療	文教ニュース	2007年 3月19日	長崎大学医学部・歯学部病院『緊急被ばく医療講座』を開催
大津留 晶・准教授	緊急被ばく医療	病院と社会保険版	2007年 4月4日	長崎大病院『緊急被ばく医療講座』を開催
大津留 晶・准教授	国際被ばく医療協力	毎日新聞	2007年 5月12日	韓国慶尚南道の在韓被爆者を対象とした健康相談事業を現地実施する。
大津留 晶・准教授	国際被ばく医療協力	CJ ケーブル ネット	2007年 5月16日	大韓赤十字社は2005年から、長崎大学病院等からの医療団とともに全国を回って「被爆者健康相談」を行っている。
大津留 晶・准教授	国際被ばく医療協力	慶南道民日報	2007年 5月16日	大韓赤十字社は2005年から、長崎大学病院等からの医療団とともに全国を回って「被爆者健康相談」を行っている。
大津留 晶・准教授	国際被ばく医療協力	全南日報	2007年 11月12日	長崎大学病院の医師らにより韓国済州島・光州・平澤・大田市において在韓原爆被爆者健康相談が行われた。
大津留 晶・准教授	国際被ばく医療協力	連合ニュース	2007年 11月12日	長崎大学病院の医師らにより韓国済州島・光州・平澤・大田市において在韓原爆被爆者健康相談が行われた。
大津留 晶・准教授	国際被ばく医療協力	CMB 光州放送	2007年 11月12日	長崎大学病院の医師らにより韓国済州島・光州・平澤・大田市において在韓原爆被爆者健康相談が行われた。
大津留 晶・准教授	国際被ばく医療協力	ニュシス通信	2007年 11月12日	長崎大学病院の医師らにより韓国済州島・光州・平澤・大田市において在韓原爆被爆者健康相談が行われた。
大津留 晶・准教授	国際被ばく医療協力	キナム放送	2007年 11月14日	長崎大学病院の医師らにより韓国済州島・光州・平澤・大田市において在韓原爆被爆者健康相談が行われた。

○離島・へき地医療学

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
離島・へき地医療学講座	離島実習 離島医療の充実を	NHK「もってこい長崎6」	2007年 2月14日	長崎県離島で行っている研究と教育活動を通して地域住民との関わりを紹介した。
離島・へき地医療学講座	生活習慣病研究と離島実習 医療の担い手「総合医」育成を目指す	日経グローバル	2007年 4月2日	長崎県離島で取り組んでいる長崎大学の地域医療教育の紹介。
離島・へき地医療学講座	離島実習 長崎大の「離島・へき地医療学講座」実情学び地域の力に	長崎新聞	2007年 6月25日	長崎県離島で行っている研究と教育活動を通して地域住民との関わりを紹介した。
離島・へき地医療学講座	離島実習 「信頼と経験、離島で磨く」「孤軍奮闘」より循環に	東京新聞	2007年 11月11日	長崎県離島で取り組んでいる長崎大学の地域医療教育の紹介。
離島・へき地医療学講座	離島実習 離島医療研究所の3年間を振り返って～離島を医療人育成のフィールドとして～	厚生労働	2007年 12月1日	離島・へき地医療学講座の活動紹介。
離島・へき地医療学講座	寄附講座としての活動	日経メディカル	2007年 12月10日	離島・へき地医療学講座の活動紹介と寄附講座の役割と波及効果。

○へき地病院再生支援・教育機構

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	概要と社会との関連
調 漸・教授	大学発の病院再生へき地医療への取り組み	月刊プロフィールM	2007年 vol.8 / 1・2	へき地医療の現場に導入された新たなプログラムについて
調 漸・教授	患者の対応論議学生出向き実習	朝日新聞	2007年 5月11日	長崎大学では、将来の在宅医療を見すえた教育を始めている。
へき地病院再生支援・教育機構	へき地で研修病院も再生	読売新聞	2007年 12月28日	へき地の病院が大学とともに医師養成の役割を担う

○がん診療センター

氏名・職	記事	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
芦澤和人・准教授	時代とともに変化する General Radiology: SubspecialistはGRだけでなく次のSubspecialistの育成も必要	Medical Tribune	2007年 12月27日	放射線診断学に関する社会的啓蒙